

## 資料2 第4回勉強会 ワークショップのまとめ

### 15年後の私たちのまち・・・どんなまち？

#### 【移動・交通】 移動支援がいないまち

- ・目的地に行きやすい環境づくり ・バスが通れるようなまち
- ・地域内の公共交通のバランスをとる（はなバスと路線バスの分散）
- ・障害者、高齢者が安全に運転できる車の開発
- ・自動運転ができるまち ・自動で走るはなバス（本数が多くなる）
- ・AIを活用した移動手段
- ・普通免許でも複数の人を乗せることができるようにする
- ・タクシー、バス等が無料に近い金額になってほしい（低料金）
- ・ドライバーのアンケートをとることでタクシー料金を安くするビジネスが見つかる（無料タクシー（nommoc（ノモック））の実現など）
- ・公共交通ではなく徒歩圏内で生活上の課題が解決できたら良い
- ・西武柳沢駅前のロータリーの地下に駐輪場を作りたい

#### 【道路】 基盤の目のようなまち、交通事故のないまち

- ・道路を作ると人が動く ・計画的なきれいなまち、広い道路を作る
- ・歩行者にやさしいまち ・通過する自動車とぶつからないまち
- ・自動車と歩行者を分ける ・車道より歩道が広がる
- ・歩きやすい道路、歩行者用道路の建設する
- ・田無駅の踏切がなくなっている（線路を立体化）
- ・バリアフリーな社会に近づいてほしい
- ・行きたくない場所に行きやすい環境にしていこう（交通、道路等）

#### 【コミュニティ】 挨拶ができるまち（横のつながり）

- ・近隣の状況が分かるコミュニティにしたい ・自らコミュニティを上げる

#### 【行政】 市民参加を常に大切にできるまち

- ・市役所等公共施設が市民の憩いの場になると良い
- ・無料の公共施設を建設する
- ・地域住民優先の施設を建設する
- ・子供達が遊べる広場がほしい
- ・ボール遊びができる場所 ・広がった歩道でキャッチボールをしたい
- ・今の勉強会同様に市民をバックアップできる行政になっている

#### 【まちの魅力】 年齢に関係なく笑顔があふれる場所がたくさんある西東京市にしたい（イメージ）

- ・住みやすく、移り住みたくなるまち ・活気のあるまち ・公園、緑の多いまち
- ・学校に通う人がその地域から動かないようなまち
- ・高齢者が楽しく生活できる優しいまち
- ・若者と一緒に暮らしていくことができるまち
- ・格差のないまち
- ・地域単位での冷暖房の管理をする
- ・農家が残る、今のみどりを残してほしい
- ・生活する（生きる）目的、外出する目的が常にあるまちになってほしい

#### 【目的】

- ・近くに小さな洒落た食堂かカフェがほしい
- ・URの建替えの時にショッピング施設を作る
- ・高齢者が病院以外に気軽に行くことができる、集える場所があると良い
- ・駅周辺に誰でも集える場所があると良い
- ・車がなくても行くことができる目的地があれば良い
- ・コンビニのようなイートインスペースがほしい
- ・市を代表するブランド作物ができるとうれしい
- ・家の規格が大きくなると良い（規制の緩和）
- ・ボランティアを行うとポイントが付与される仕組みづくり
- ・シェアハウスの増加により使える土地が増える（居場所として活用）
- ・仮想空間（VR）による面談ができる（移動しない⇒旅行や遠出がなくなる）
- ・メガネや時計がもっと便利なアイテムになっている
- ・セグウェイを1人1台保有している

#### 【買物】 地域の中で完結できるまち

- ・小さな店がいっぱいあると良い ・小規模店舗で多種多様な商品を取り扱う
- ・大型スーパーができると良い ・アマゾンフレッシュによる自動購買

### そのためには、今、何をすればよいか？

#### 【移動・交通（公助・互助）】

- ・狭い道路に公共交通を運行させる
- ・行政か民間で乗り降り自由な乗り物を提供する
- ・小型のバスにする
- ・どこでも乗り降りできる小規模車両による公共交通サービスの提供
- ・バス停近くに駐輪場を整備する
- ・西武柳沢駅のすぐ前に自転車を置きたい
- ・自転車を使う人のためにとどこどころ駐輪場を整備する
- ・歩く人のために休むベンチを設置する
- ・目的地までの途中に休憩場所を作る
- ・電動アシスト三輪車のシェアリング（無料）

#### 【道路（公助）】

- ・道路の機能の棲み分け（住民にやさしい使い方）
- ・道路機能を分担したネットワークの形成（歩行者、自転車、自動車専用）
- ・既存道路の狭いなりを使い方を考える
- ・道路規制の見直し
- ・歩行者、自転車専用の時間帯を設ける
- ・地域ごとに時間規制を行う
- ・曜日別、時間帯別で安全に歩けるようにする（歩行者天国等）

#### 【コミュニティ（自助・互助・公助）】

- ・地域のつながりを作るために町内会を作る
- ・既存の町内会をなくし、新しく設立すれば人が集まる
- ・顔が見える地域にする（町内会の活性化、祭など）
- ・地域での仲間づくり ・交流により協力がしやすい
- ・コミュニケーションのある地域にする ・人とのつながりが大切
- ・楽しめる場所を考え、作っていく（人と人との輪）
- ・井戸端会議のような空間がほしい
- ・日常のおしゃべりをたくさんする、大事にする
- ・地域の連絡、回覧板を作る（情報共有を増やす、広げる）
- ・広報紙をシルバー人材センターに依頼するのではなくボランティアで配布する
- ・コミュニティがあっても気づいていない人がいるのでPRが必要
- ・無料ボランティア、助ける人を作る（草むしりなど）
- ・近所で話し合い、歩きやすくするよう木を切る
- ・地域美化コミュニティを作る
- ・近所との会話やコミュニケーションをとり、買物の手伝いなど、助け合う
- ・住民が意識を持ち、地域で何をするか考えるために何が必要か考える
- ・住民が支援を願うだけでなく、必要としていることやものが地域内に来るように自分達で取り組むことが必要
- ・生活で何が問題か、困っていることは何か、伝え合う人が必要  
⇒場合によっては市へも伝える

#### 【行政（公助）】

- ・コミュニティを主導的に行政で作ってほしい
- ・福祉的な考えを持った行政になってほしい
- ・空き家を活用して活発なまちづくり（集う場所を作る）
- ・店舗を持たず活動している団体や個人に対し、市が展示や販売ができる場所を提供してほしい
- ・空き家や公園、市の土地、農家の一角などのフリースペースが利用できないか、またその情報がほしい

#### 【買物（自助・互助）】

- ・ニーズのある物を売る場所を作る
- ・商店が小売ではなく、野菜や日用品など色々売ってもらいたい
- ・直売所を利用するので、日用品を置いてほしい
- ・古民家や空き家を利用したカフェや販売
- ・道路や広場などに移動物販車が来たらよい（歩行者天国など、道路上に出店）

#### 【健康増進（自助）】

- ・筋力アップで解決できる

### 現状の課題は何か？解決できる課題か？

#### 【移動・交通】

- [中]バスロケーションシステムの導入
- [中]バスの便数が少ない
- [中]はなバス第3ルートの田無駅までの所要時間の改善
- [中]タクシーの初乗り運賃の改善
- [中]目的地へは乗継が必要
- [長]地域内にバスが走っていない
- [長]自宅からバス停が遠い
- [長]バス停の近くに駐輪場があるとよい
- [長]駅南北の横断がしづらい
- ・バスは雨天時に混雑する
- ・タクシーは雨天時につかまらない
- ・西武柳沢駅前南口の自転車置場が坂の下に移動した

#### 【道路（地形）】

- [中]道路が凹凸で、特に車椅子、歩行器は移動しにくい
- [中]障害者は特に、バス停までも移動困難（距離、坂道）
- [中]一方通行が多い
- [中]道路の通行可能時間の規制ができない
- [長]坂道が多く、移動が大変  
特に高齢者、ベビーカーや車椅子利用者
- [長]歩道に余裕がなく車椅子用のスロープが出せない
- [長]道路が狭いうえ、路側帯もないので、車と接触しそう
- [長]自転車専用レーンがない、あっても走行するのが怖い
- [長]地域内の道路の見通しが悪い
- [長]田無駅東側の踏切が渡りにくい
- [長]ベビーカーや歩行器での踏切横断が危険
- [長]地形・道路の改善は役所の協力が必要
- ・高齢者は歩道橋を利用できない
- ・高齢者は大きな通りを青信号内でも渡りきれない
- ・地形のことは課題としてあげても解決が見込めない

#### 【行動の制限（身体的理由、一時的な制約）】

- [短]障害者の多くは家族の介助が必要
- [短]介助する家族の高齢化に伴い外出が困難
- [短]心配して家族が外出させない
- [短]車椅子利用者に対して周囲の人の援助する意識が低い
- [中]目的地までの公共交通がない
- [中]ひとつの方法でしか移動が困難（障害者施設送迎バス等）
- [中]電動車椅子に対応する車両が少ない
- ・足腰が痛く、長時間歩けない
- ・荷物が重い、常に自転車を押すような状態

#### 【まちの魅力（目的）】

- [中]外出目的が無い
- [中]地域内に話題性の高い店舗や場所がない
- ・自宅で趣味に没頭
- ・退職を期に出不精になる
- ・目的のない日々の生活

#### 【コミュニティ】

- [短]高齢者の方は大きくなりすぎた木などを切りたくても切れない
- [短]何がしてほしいか、知らないと思うことができない（介助）
- [短]近所に誰が住んでいるか良く知らない
- [短]地域内に知人がいない
- [長]若い人はコミュニティ（自治会や町内会）に参加しない
- ・地域の活動に不参加
- ・新たなコミュニティ形成活動に億劫
- ・都営住宅には回覧板がある
- ・若い人が多くなり、活気のある地域あり
- ・若い人は助けを必要としない
- ・子供のいる家庭は時間がなく、置き去りになっている
- ・地震時に地域の助け合いがあるのか不安
- [中]地域内に居場所がない
- [中]コミュニティが充実していない
- [中]コミュニティのつながりが弱い
- [中]自治会、町内会が2割ぐらいしかない
- [中]柳沢地区に自治会がほとんどない

#### 【買物】

- [中]高齢のため、買い物子供やヘルパーが代行
- [中]子育て世代の子供の代わりに親が買い物を代行
- [中]高齢や体が不自由なので、近所のコンビニや宅配で買い物

- [長]買い物先の休憩施設が整備されていない

#### 【その他】

- [長]税が不足しないか
- ・高齢者のみの均一社会になっていないか

[短]短期課題：5～10年程度の課題

[中]中期課題：10～20年程度の課題

[長]長期課題：20年以上程度の課題